

中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト



関係人口

自然環境
との共生

地産地消

産地振興

SDGs・温室
効果ガス削減

福島大学との
連携

取組による効果

- 地域の話し合いや集落活動の支援 → 関係人口との関わり合い強化
- 鳥獣被害防止のための専門人材確保・育成 → 農産物被害金額の減少、生産意欲向上
- 花を愛でるライフスタイルの提案 → 利用拡大、地産地消の拡大
- 果樹園地継承の仕組みづくり → 優良果樹園地の有効活用、新規就農者の確保
- 環境と共生する農業の推進 → 地球環境への負荷が少ない農業の実現
- 福島大学との地域課題克服に向けた連携 → 地域農業の維持・活性化の実現

**自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による
担い手の参入・定着の好循環による、地域全体の活性化の実現**

**地域の
魅力向上**

ご寄付頂くメリット

- 感謝状をお送りさせていただきます。
- ホームページや事業のチラシなどにて企業名を掲載いたします。

関連事業

- Ⅲ-1 みんなでつなぐ中山間地域等農業推進事業
- Ⅲ-2 鳥獣被害対策強化事業
- Ⅲ-3 「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業
- Ⅲ-4 果樹園地継承促進事業
- Ⅲ-5 みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業
- Ⅲ-6 福島大学と連携した地域農業モデル創出事業

みんなでつなぐ中山間地域等農業推進事業

関係人口

地域ビジョン

ふるさと再生

取組

- ◆ サポートチームによる地域の話し合いや集落活動の支援
- ◆ 地域の方向性を示したビジョンづくり
- ◆ 関係人口との交流活動

めざす姿

- ◆ 関係人口との関わり強化
- ◆ 持続的に発展する地域モデルの創出
- ◆ 魅力あふれる誇れるふるさとの再生



鳥獣被害対策強化事業

自然環境との共生

専門人材

取組

- ◆ 住民と野生鳥獣の棲み分けや里山の山地化防止に向けた専門人材の確保・育成
- ◆ 専門人材が市町村等において、自然環境と共生した農村づくりをコーディネートする活動を支援

めざす姿

- ◆ 専門人材のコーディネートすることで、住民主体の鳥獣対策や里山環境管理体制を構築
- ◆ 野生鳥獣による農作物被害金額の減少
- ◆ 地域農業者の生産意欲向上による農村地域の活性化



「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業

認知度向上

地産地消

県育成品種

取組

- ◆ 県内の駅、商業施設や花き利用施設(ホテル等)での県産花きの展示 P R。
- ◆ 県民等が県産の花理解し、花に囲まれた日常を送るなど、花に親しむための活動をまとめた「ふくしまの花を愛でるライフスタイル」の県民への提案。
- ◆ リンドウ、カラーの県育成品種の導入を支援。



めざす姿

- ◆ 県産花きの認知度向上による利用拡大。
- ◆ 県民が県産の花を知り、日常生活での利用促進が図られることで、生活を豊かにする。
- ◆ 県育成品種を活用した生産、販売の向上。



果樹園地継承促進事業

産地振興

担い手確保

担い手育成

取組

- ◆ 関係機関、団体との協議による園地継承の仕組みづくりへの合意形成。
- ◆ 果樹農家へのアンケートによる、継承候補園地のリスト作成。
- ◆ 新規就農者が技術を習得するための研修用園地の整備。



めざす姿

- ◆ 優良な果樹園地を、意欲のある新規就農者等に継承し、有効活用するための仕組みが構築される。
- ◆ 果樹の新規就農者の技術習得が円滑に進む。
- ◆ 新規就農者の果樹部門への参入が増加する。



みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業

環境保全型
農業

SDGs・温室
効果ガス削減

地域ぐるみ

取組

- ◆ 環境と共生する農業の地域リーダーの育成や技術習得の支援
- ◆ モデル地区における推進と支援体制整備、地域ぐるみの活動支援
- ◆ 環境保全型農業コンテストと交流大会の開催

めざす姿

- ◆ 環境保全型農業の拡大により「福島ならではの農業」の復活
- ◆ 土壌炭素貯留量の増加により温室効果ガス排出量の削減
- ◆ 農業者への理解促進や技術向上を図り、有機農業をレベルアップ
- ◆ 本県産有機農業・特別栽培農産物の供給拡大



福島大学と連携した地域農業モデル創出事業

維持管理の
軽減

果樹の
技術継承

福島大学との
連携

取組

- ◆ 福島大学と連携し、地域の課題を克服
- ◆ 旧避難地域を仮想過疎地域と位置付け、水路の土砂上げ、農地の草刈りなど維持管理を軽減する地域モデルを検証
(スマート農業の活用+スマート農業の実装に向けた整備)
- ◆ 新規就農者の早期の技術習得のため、スマートグラス等を用いて果樹の技術継承システムを構築

めざす姿

- ◆ 少数で維持管理ができる農業基盤を整備
- ◆ 新規就農者の早期の経営安定化



草刈りや水路の土砂
上げには人手が必要



熟練農家の
技術を3D
で体験